

evolution®

www.evolutionpowertools.com

FURY6

WITH RAGE® TECHNOLOGY

(065-0005)

取扱説明書



JP



目次

はじめに	3
製品仕様	3
振動	4
表示・図記号	4
用途	5
禁止用途	5
安全上のご注意	5
電気的安全性	5
屋外で使用するとき	5
一般安全規則	6
安全規則の補足	8
さあ、始めよう	9
開梱	9
各部名称	10
組立と準備	12
操作方法	16
保守	26
環境保護	26

製品仕様

製品仕様	
消費電力	1050W
電圧	100V
周波数	50-60Hz
無負荷速度	3750min ⁻¹
質量	9.45kg

切断性能 卓上マルノコの設定時	
軟鋼板 (最大厚)	3mm
軟鋼箱型断面 (最大壁厚)	3mm
90度の継ぎ目 x 傾斜90度時 (mm):	115 x 55mm
45度の継ぎ目 x 傾斜90度時 (mm):	65 x 55mm
45度の継ぎ目 x 傾斜45度時 (mm):	40 x 25mm

切断性能 テーブルソーの設定時	
木材 (最長の切断性能)	32mm

チップソー	
外径	210mm
穴径	25.4mm
歯数	20
最大使用回転数	5000min ⁻¹
刃厚	1.7mm

取扱い

- ・電動工具は慎重に扱ってください。電動工具が能率よく稼動する状態に保ってください。
- ・電動工具に無理な力をかけないでください。安全に能率よく作業をしていたために、電動工具の能力に見合った速さで作業してください。
- ・無理な姿勢で作業をしないでください。安全性や安定性に考慮して、バランスを保つようにしてください。

材料

- ・切断する材料の素材状態（表面の状態、硬さ、密度、固定位置など）を考慮してください。

警告: 作業中に発生する振動の強度や作業連続時間などに応じて、予防対策を講じてください。

(1.9)

表示・図記号	説明
V	電圧(ボルト)
A	電流(アンペア)
Hz	周波数(ヘルツ)
Min ⁻¹	回転速度
~	交流電流
n ₀	無負荷速度
	保護メガネを着用すること
	防音用保護具を着用すること
	触れないこと 手を近づけないこと
	防塵マスクを着用すること
	WEEE 廃棄物指令準拠
	使用前に取扱説明書を読むこと
	警告
	二重絶縁

(1.10) 用途

警告: 本機は210mm 2WAY丸ノコ (万能切断卓上マルノコ&木工専用テーブルソー) です。エボリューション専用または当社が推奨する刃物のみをご使用ください。

専用チップソーをお使いいただくと、以下の切断が可能です:

一般木材

木材加工製品 (MDF、チップボード、合板、ベニヤ板、ハードボードなど)

アルミ

軟鋼

注記: 慎重に操作すれば、鉄丸釘やビスが打ち込まれている木材でも、安全に切断できます。(卓上マルノコモード時のみ)

(1.11) 禁止用途

警告: 本機210mm 2WAY丸ノコ (万能切断卓上マルノコ&木工専用テーブルソー) として指定された用途以外に使用しないでください。他の機器の充電や指定外のアクセサリ使用など、本製品の改造や本説明書に記載されていない取扱いをしないでください。

警告: 本機は、アスベストを含む可能性がある材料の切断に使用しないでください。アスベストを含む可能性があると思われる場合には、関連当局にまずご相談ください。

(1.13) 警告: この製品は、肉体的、感覚的または精神的な能力が低下している方 (お子様を含む)、あるいは適任の安全責任者により機器の使用に関して監督が行われない限り、経験や知識が不足している方による使用はさせないでください。

本機を使用する作業場には作業員以外の人を近づけないでください。

(1.14) 電気的安全性

電源コードやプラグが破損している場合、有能な技術者に修理・交換を依頼してください。

(1.15) 屋外で使用時のご注意

警告: 作業者の安全性を保つため、屋外の使用時には雨の中や湿った場所で電動工具を使用しないでください。また、電動工具を湿気の多い場所に置かないでください。明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。より安全に使用するために、定格感度電流 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。本機をご使用になる前に、必ず漏電遮断器 (RCD) の取扱説明書をご確認ください。

延長コードが必要になる場合には、屋外用途に適したものである表示があることをご確認ください。

延長コードをご使用の際は、製造元が発行した取扱説明書に従うようにしてください。

(2.1) 電動工具全般

警告: ご使用の前に、必ず取扱説明書の全ての事項を読んでください。安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

警告や説明内容をお読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

次に示す安全上の注意事項における「電動工具」という用語は、電源式 (コード付き) 電動工具と電池式 (コードレス) 電動工具の双方を指します。

(2.2) 1) 一般安全規則【作業場の安全】

a) 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。

b) 爆発を誘発することがある可燃性液体、ガスまたは粉塵のあるところでは、電動工具を使用しないでください。電動工具は、粉塵またはヒュームを発火させることが火花を発生する場合があります。

c) 電動工具の使用中は、子どもおよび第三者を近づけないでください。注意が散漫になって操作に集中できなくなる場合があります。

(2.3) 2) 一般安全規則【電気的安全性】

a) 電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用することで、感電のリスクが軽減されます。

b) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと身体の接触をさけてください。身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。

c) 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。

d) コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、電源プラグを抜いたりするためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のものがたつところ、または動くものから離しておいてください。コードが損傷すると感電のリスクが増大します。

e) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。延長ケーブルを束ねて使用しないでください。

f) 湿った場所で電動工具を使用する場合は、漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

g) 安全保護具を使用してください。常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、人身事故が低減されます。

h) 不意な始動は避けてください。電源プラグを差し込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、またスイッチの位置がオンになっている電動工具のプラグを電源コンセントに差し込むと、事故を招くおそれがあります。

i) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーをつけたままにしておくと、人身事故を招くおそれがあります。

j) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。

k) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品は身につけないでください。髪、服および手袋を回転部に近づけないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。

l) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。これらの装置を使用することによって、粉塵関連の危険を低減することができます。

(2.5) 4) 一般安全規則【電動工具の使用および手入れ】

a) 電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。より安全かつ快適に作業ができます。

b) スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。

c) 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源

プラグをコンセントから抜くか、電動工具からバッテリーをはずしてください。このような予防的安全手段によって、電動工具を不意に始動させるリスクが低減されます。

d) 使用しない電動工具は、子どもの手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな人や取扱説明書を読んでいない人には電動工具を使用させないでください。

e) 電動工具の保守・点検を行ってください。電動工具の動作に影響のある可動部分の芯ずれや癒着、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に修理を受けてください。電動工具の保守が不十分であることが多くの事故の原因となります。

f) 刃物類は、鋭利かつ清潔に保ってください。製品使用前、使用後は刃物類を適切に手入れしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も用意になります。

g) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具、刃物類などは、作業条件および実施する作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使用する電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なることに電動工具を使用すると、危険を招く恐れがあります。

(2.6) 5) 一般安全規則 【整備】

a) 電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が適切な交換部品のみを用いて行ってください。電動工具の安全性を維持することができません。

(2.7) 健康被害に関するご注意

警告: 取り扱う材料に伴うリスクを考慮して、そうしたリスクを避けるような対策を検討してください。健康被害を及ぼす粉塵を発生する材料もありますので、本機のご使用に際しては、信頼性のあるフィルターが付いた承認済み保護マスクを使用することを推奨します。

常に以下を守ってください:

- ・ 換気が十分にされている場所で作業を行うこと。
- ・ 微細粒子をフィルターするように特別に設計された保護マスクなど、安全認可のある機器を使用して作業すること。

(2.8) 警告: 電動工具を操作することで、切断片などの異物が眼に飛んでくることがあり、眼に重度の障害を引き起こす可能性があります。作業時には、電動工具の操作を開始する前に、必ず側面遮蔽が付いた保護メガネまたはフェイスシールドを着用を使用するようにしてください。

(3.5) 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、スライド丸ノコとして以下の注意事項も合わせて守ってください。

ノコ刃に関する安全性

警告: 回転中のノコ刃は大変危険なものです。取扱いを誤ると重傷を負う恐れがあります。回転しているノコ刃に、絶対に手を近づけないでください (手の位置は、常時15センチ以上ノコ刃から離しておくこと)。

切断後は、ノコ刃を取付けている切断ヘッド部が上がり、安全カバーが完全に閉まり、ノコ刃の回転が停止するまでは、絶対に加工中の切れ端を取り除こうとしないでください。

ノコ刃はエボリューションパワーツール純正品をお使いください。

高速鋼 (HSS、ハイス) ノコ刃は使用しないでください。

破損または変形しているノコ刃を使用しないでください。欠けた刃が飛んで作業者や近くにいる第三者がけがを負う恐れがあります。

刃口板が損傷または磨耗している場合は、交換してください。

(3.6) 安全保護具 (PPE)

作業の騒音による損傷を避けるため、耳栓や耳覆いなどの防音保護具を着用してください。

飛散する切粉で失明したりする損傷から目を守るために、作業時は必ず保護メガネを着用してください。

一般木材や木材加工製品、特にMDF (中質繊維板)からの粉塵は健康被害を引き起こす恐れがありますので、本機をお使いの際には、集塵施設の使用に加え、交換フィルターの付いている防塵フェイスマスクを併用するようお勧めします。

ノコ刃や表面が粗い材料を取り扱う時には、手袋を着用してください。ノコ刃を運搬する場合は、できる限り収納ケースに入れて運んでください。切断作業中は、手袋を着用しないことをお勧めします。

(3.7) 安全な作業のために

切断する材料に適するノコ刃を必ず選択してください。この説明書に記載されている適合材料以外のものを切断しないでください。

移動・運搬する場合は、ヘッド部の位置を90度下限まで下げてください(スライド式マルノコの場合はスライドバーをきちんと固定)。本機を持ち上げる際は、ベース両側のくぼみに手をかけて持ち上げてください(スライド式マルノコの場合は取り付けられたハンドルを使ってください)。絶対に安全カバーや操作メカニズム部分などを持って無理に持ち上げないでください。

毎回ご使用前に、電源プラグをコンセントにつなぐ前に、安全カバーに損傷がないか、操作メカニズム部分が正常に円滑に作動するか確認してください。

作業台の上や床面が切れ端や切粉などで散らかっていないように心がけてください。ノコ刃の最高回転数が本機の無負荷回転数

を上回っていることを確認してください。無負荷回転数が指定以外であるノコ刃を使用すると、本機の性能が十分にひきだせないだけでなく、事故やけがの原因になります。

材料を切断した後は、ヘッド部を上げ、安全カバーが完全に閉じ、ノコ刃の回転が停止してから、加工した部材を取り除いてください。

(3.8) 安全かつ正確に切断するために

可能な限り、切断する材料はクランプで確実に固定して作業してください。

工具本体を傾斜のない平坦な場所に据え付け、毎回切断する前に安定していることを確認しながら作業してください。

本機は木製のベース、作業台、または専用スタンドに据え付けて使用することができません。詳細は各作業台取扱説明書の該当ページを参照してください。長尺材または幅広材を切断するときは、材料が安定するように端部を適切な補助サポートで支えてください。

(2.8) 警告: 作業中は、切断片などの異物が目に飛んでくることがあり、眼に重度の障害を引き起こす可能性があります。必ず保護メガネまたはフェイスシールドを着用を使用してください。

警告: 損傷したり部品が欠けたりしているマルノコを使用しないでください。けがの恐れがあります。部品の修理・交換は、買い求めのお販売店または当社窓口までお問い合わせください。

(3.9) 安全上のご注意 補足

マルノコを移動・運搬するとき

本機を運搬するとき

- ・ 本機はコンパクトながら重量があります。持ち上げるときには腰に無理な負担がかからないようにしてください。
- ・ できるだけ腰に負担をかけない姿勢で行うために、持ち上げるときにはマルノコに

体を近づけ、膝を曲げ、腰を十分に下ろして本機を抱え、膝を伸ばしながら立ち上がるようにします。本機を持ち上げるときには、ベース両側にくぼみに手をかけて持ち上げてください。

- 絶対に電源コードを持ってマルノコを運搬しないでください。絶縁部が損傷したり、コード内部が断線し、火災や感電の原因になります。
- 運搬する場合は、不意に移動部が動くことを避けるために、マイター止めネジと傾斜止めネジ、およびスライド式キャリッジ止めネジを締めておきます。
- 切断ヘッドを一番下の位置で固定します。固定ピンが奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。

警告: 保護カバーを掴んで本体を持ち上げないでください。必ず電源プラグをコンセントから抜いてから移動・運搬を行ってください。

- 切断ヘッドを下げ、固定ピンを差し込んで固定します。
- マイターアングル止めネジを緩めます。回転テーブルを左右どちらかいっぱいまで回してください。
- 止めネジを締めてテーブルベースを固定します。
- 本体を持ち上げるときには、ベース両側にくぼみに手をかけてください。

運搬後は丈夫で水平なところに置き、本機に異常がないか、正常に作動するか、十分に検してください。

作業を開始する前には、特に所定の安全機能に問題がないよう確認するようにしてください。

(4.1) さあ、始めよう

開梱

注意: 部品の中には尖った形状のものがあります。開梱時には、けがをしないようにご

注意ください。本製品には重量がありますので、移動や運搬、組み立ての際は2人で行うようにしてください。本体と部品を取り出します。開梱後に本体の状態が良好であることを確認し、本説明書どおりの部品数量および付属品がすべて揃っていることを確認してください。

商品に破損や異常がないことを点検してください。万一不足している物や損傷しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

サイクルを促進するため、開梱後の梱包・包装資材は分別処理してください。窒息の危険をさけるため、ビニール袋は子供の手の届かないところに置いてください。

(4.2) 標準付属品

別売部品・アクセサリ	部品番号
取扱説明書	1
たて型固定クランプ	1
プッシュスティック	1
「C」ピンスパナ (ノコ刃取替え)	1
六角棒スパナ (ノコ刃取替え)	1
六角棒スパナ (ライピングナイフ調整)	1
リップフェンスのガイド	1
下部保護カバー	1
材料サポート	2

(4.4)

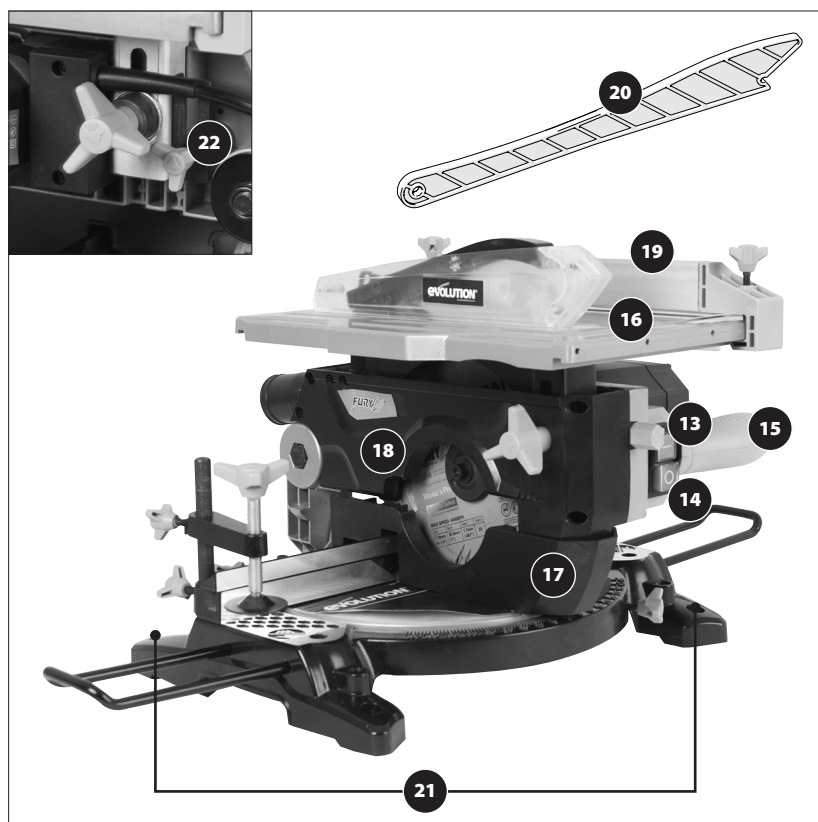
別売部品・アクセサリ	JAN部品番号
FURY 210mm ブレード	0849713035073

FURY 6 卓上マルノコ設定時の各部名称



- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. ハンドル | 7. マイターアングルスケール |
| 2. 回転テーブル | 8. フェンス (長さ調節可能) |
| 3. ブレードカバー | 9. たて型固定クランプ |
| 4. ノコ刃 (チップソー) | 10. 固定アーム |
| 5. 傾斜 ロックネジ | 11. 切断ヘッド解除ボタン |
| 6. マイターアングル ロックネジ | 12. テーブルの高さ調整用ネジ (左右各1個) |

FURY 6 テーブルソー設定の各部名称



13. 「ON」 押しボタン スイッチ

14. 「OFF」 押しボタン スイッチ

15. ハンドル

16. テーブルトップ

17. 下部保護カバー

18. 上部保護カバー

19. リップフェンス (平行定規)

20. プッシュスティック (押し棒)

21. スタンド取り付け穴
(前後2個、合計4個)

22. 切断ヘッド止めピン

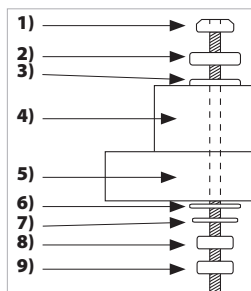


図1

- 1) 六角頭ボルト
- 2) スプリングワッシャー
- 3) フラットワッシャー
- 4) 卓上マルノコベース
- 5) 作業台
- 6) フラットワッシャー
- 7) スプリングワッシャー
- 8) 六角ナット
- 9) ロックナット

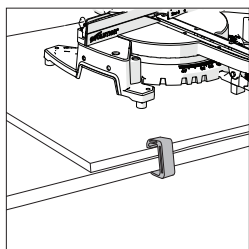


図2

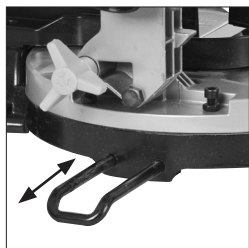


図3

組立と準備

警告: 調整作業は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

210mm 2WAY丸ノコを定位置に固定する場合

不意な動きによるけがの危険を低減するために、本機を作業台またはその他の適切な台に設置します。本機のベースには、4つのがありますので、これに適合するボルト(付属品)を使用して210mm 2WAY丸ノコを固定してください。本機を一定の場所でのみ使用する場合には、取り外しできないように作業台に固定します。適切な締め具(非付属品)で固定します。作業台の下部にはロックワッシャーとロックナットを使用してください。(図1)

- ・ 回転テーブルのマイターアングルが0度になるように、マイターアングル止めネジで止めます。(図18参照)
- ・ 傾斜止めネジを締めて、切断ヘッドを0度の傾斜角度で安定させます(図21参照)。
- ・ 飛散する切粉でけがをしないよう、第三者や見学者が本機の至近距離(背面も含む)に来てけがをすることがない位置に固定します。
- ・ 作業に十分なスペースが確保できる場所で、安定した平らな表面に置きま(特に長尺材または幅広材を切断する場合には支えてください)。
- ・ 本機のテーブルと回転テーブルは平らな表面に固定してがたつかないようにします。
- ・ チップソーをサポートスタンドまたは作業台にボルトまたはクランプで固定します。

携帯して使用する場合:

- ・ 適切な固定装置 (非付属品) を使って、チップソーをキッチン作業台または厚さ18mm(最低)の合板またはMDF(最低寸法600mm x 400mm推奨)に取り付けます。
- ・ 表面に段差ができる場合にはワッシャーやナットなどを、作業台や合板・MDFの実装基盤下側の皿穴に埋める必要があります。
- ・ 実装基盤を作業面にG-クランプを使用して取り付けます。(図2)

注記: 本機は傾斜軸の真下に背面安定アームが備わっています。特に作業台に本機が独立設置される場合には、安全のため必ずアームを完全にベースから出し入れして使用してください(図3)。

このアームは、切断操作中に切断ヘッドが急に外れた場合に本機ががたがた動かないように、安定性を補強するものです

左右両側の材料サポート (図4)

注記: 材料サポート固定アームは、安定性を確保するため作業時に必ず装着してください。

付属の材料サポート固定アームは、本体ベースの両側にある2つの穴に挿入します。

材料サポートの各脚は約50mmベースの中に差しします。材料サポートの「脚」は、ベースの中にしっかり差し込んでください。

固定ネジをしっかり締めて材料サポート固をベースに固定してください。

たて型固定クランプ (図5)

注記: たて型固定クランプは、本機が卓上マルノコモードに設定されているときに、材料を回転テーブルに固定するために使用します。

本機のフェンス背面にソケット(片側1個づつ)が組み込まれています。このソケットでたて型固定クランプを固定します。

- ・ 切断作業時はクランプソケットにを取り付けます。完全に押し下げられていることを確認してください。
- ・ クランプソケットの蝶ネジを締めて、たて型固定クランプをクランプソケットに固定します。
- ・ マルノコのテーブルに、切断する材料をフェンスにあてるようにして適切な位置に置きます。
- ・ 材料が回転テーブルにしっかり安定するように、蝶ネジとハンドホイールを使ってたて型固定クランプを調整します。
- ・ 電源を切った状態で「予行演習」をして、切断ヘッドが下がった状態でノコ刃その他の切断ヘッドの稼動に対して、たて型固定クランプに問題がないことを確認してください。

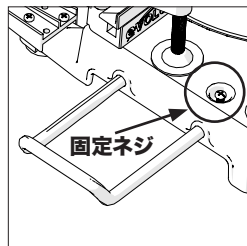


図4



図5

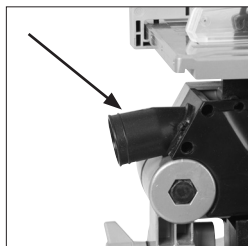


図6a

集塵袋 (別売品)

本機背面の排出口に集塵袋を取り付けることが可能です。

す。集塵袋は、本機が卓上マルノコモードになっているときに取り付け可能で、木材の切断時のみに使用できます。

- ・ 本機背面にある排出口を確認します。(図6a)
- ・ 集塵袋を粉塵排出口に接続します。排出口のばね挟みがしっかり集塵袋を固定するように装着します(図6b)。

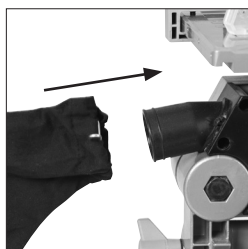


図6b

注記: 作業の効率化を図るため、集塵袋は3分の2程度に溜まれば空にしてください。集塵袋の処理には粉塵マスクを着用すると安全です。

注記: 必要に応じて、吸引掃除機を粉塵排出口に取り付けることも可能です。その場合には、掃除機製造会社の説明書に従ってください。

リップフェンス (平行定規) のガイド (図7)

リップフェンス は、本機がテーブルソーのモードに設定さ

れているときに使用します。テーブルの右側に取り付け

て、横にスライドさせます。止めネジを2個使って定位置に固定することもできます。

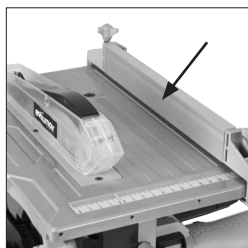


図7

注記: リップフェンスは、リップフェンスの平坦な面がノコ刃に面するようにテーブルに固定してください。

注記: テーブル前面の「スケール (目盛り)」およびテーブル表面の「溝」は、リップフェンス (平行定規) のガイド設定の際に目安として役立ちます。絶対確実ではないため、リップフェンスのガイドを設定するときに正確な手動測定の代わりになるものではありません。リップフェンスの設定の距離に関係なく常にノコ刃と平行であるようにしてください。

卓上マルノコモードの設定

警告: 調整を行う前に、必ずマルノコのスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: 本機には多くの安全機能および安全保護装置が内蔵されています。以下の説明および本機に添付されている情報ラベルをよく読み理解したうえで従うことが重要です。正しく設定操作が行われなかった場合は、本機に損害が生じるだけでなく、作業者がけがを負う事態になるおそれがあります。

注記: 本機背面に掘削深度ゲージがありますので、作業者は掘削の深度を確認することができます。

- ・ テーブルの高さを調整する止めネジ2個を緩めます (図8)。
- ・ テーブルトップを一番高い位置に上げて、止めネジを締めて固定します (図9)。
- ・ 切断ヘッドのハンドルを少し下げます。
- ・ 切断ヘッドの止めピンを引き抜き (図10)、切断ヘッドを上部位置に上げます。
- ・ 丁寧に下部保護カバーを上げて外し、再度取り付けるときのために保管します。

本機はこれで卓上マルノコとして使用できます (図11)。

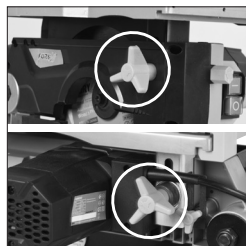


図8



図9

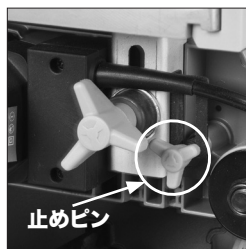


図10



図11

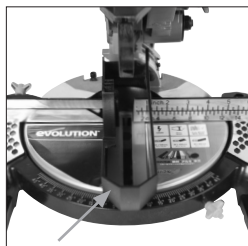


図12

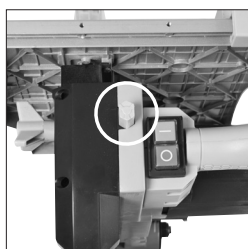


図13



図14

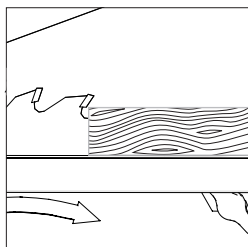


図15

本機の設定変更

卓上マルノコモードからテーブルソーモードへの変更

警告: 調整を行う前に、必ずマルノコのスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ 回転テーブルのマイターアングルが0度になっていることを確認します。
- ・ 切断ヘッドの傾斜角度が0度になっていることを確認します。
- ・ 下部保護カバーを回転テーブル上のテーブルインサート上部に配置し、フェンス両側にかかるようにします(図12)。
- ・ 切断ヘッド解除ボタンを押して(図13)、ゆっくり切断ヘッドを一番下まで下ろし、保護カバーを取り込むようにします。
- ・ 切断ヘッドを完全に一番下の位置に下ろして、切断ヘッドの止めピンをソケット内に差し込んで固定します。

本機はこれでテーブルソーとして使用できます(図14)

操作方法

テーブルソーのモード

テーブルの高さの調整

本機モーター上部にあるテーブルの高さは調整可能です。FURY6はこの機能によって、従来のテーブルソーの大半に備わるノコ刃の上げ下げ機能と同様の操作を行うことができます。

- ・ 両サイドの高さ調整ネジを緩めて、テーブルの高さを調整します。マルノコのノコ刃に必要な長さがテーブルから突き出している状態に調整します(図15)。
- ・ 2個の調整ネジを締めます。

注記: マルノコのノコ刃が切断する材料から約3mm程度突き出している状態に調整することを推奨します。

警告: 本機は、相欠継ぎの溝加工には適していません。

注記: テーブルソーモードのFURY6は、薄い木材や積層床材のようなプラスチックシート材料の切断に最適化されています。

警告: テーブルソーモードに設定されているときには、金属材料を切断しないでください。

切断の準備

縦切り

警告: 必ず調整済みのリップフェンスを使い、材料を固定させて切断作業を行ってください。素手では絶対に行わないでください。ノコ刃が噛み込んだりキックバックが起こる可能性を軽減するために、常にガイドやフェンスを正しく使ってください。

- ・ 足元が安定しバランスがとれていることを確認してください。キックバックが起こっても顔や体にけがをしないように、片側に立ちます。
- ・ 必要な切断深度が確保できるようにテーブルの高さを調整します。
- ・ ノコ刃からの必要な幅が確保できるようにリップフェンスを設定します。
- ・ リップフェンスがノコ刃に対して正確に平行に調整されていることを確認します。
- ・ ライビングナイフがノコ刃に揃っていることを確認してください。
- ・ 緑色(I)ボタン(図16a)を押してモーターを始動します。
- ・ ノコ刃が最高回転速度になるまで待ってから作業します。

材料を揃えてリップフェンスにあてた状態でマルノコに通します。安定した圧力をかけて、ノコ刃の速度に合わせて材料をきれいに切断します。

注記: 長尺・幅広材を加工するときには、材料を安定した状態にするために、固定器具などを使って材料をサポートしてください。

注記: 切断中は本機の上部保護カバーが自動的に調整します。これは、マルノコのノコ刃が最大限にカバーされることで作業者を最大限に保護することが目的です。

- ・ 切断完了後、赤色(O)ボタン(図16b)を押してモーターをOFFにします。



図16a



図16b

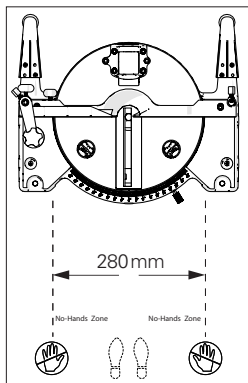


図17



図18

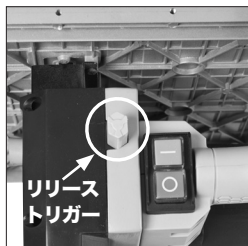


図19

卓上マルノコモードの操作方法

作業者の体と手の位置(図17)

- 手を置いてはいけないゾーンに決して手を入れないでください(ノコ刃から150mm以上離します)。ノコ刃の進行方向には絶対に手を置いてはいけません。
- 材料が動かないように、フェンスにあててしっかりテーブルに固定します。
- 可能な限り、たて型固定クランプを使用します。ノコ刃その他の稼動部分に接触する危険性がないよう確認します。
- 無理な姿勢で作業しないようにします。不意な動作で指や手がノコ刃の方向に行かないように手の位置に注意します。
- 切断を開始する前に、電源を切った状態で「予行演習」してノコ刃の進行方向を確認してください。
- 「OFF」ボタン(赤色(O)ボタン)を押してモーターとノコ刃が完全に停止するまでは、切断完了後も手の位置に注意してください。

切断の準備

通常のチョップ切断 (Normal chop cutting)

注記: この種類の切断は、通常、小型または細長い材料の切断に使用されます。切断ヘッドをゆっくりと材料に下ろして切断します。回転テーブルは0度で設定し、マイターアングル止めネジで固定します (図18)。

- 回転テーブルに材料をフェンスにあてて置き、必要に応じてクランプで固定します。
- を握ります。
- モーターの電源をON(緑色(I)ボタン)にして、マルノコのノコ刃が最高速度になるまで待ちます。
- 切断ヘッドのリリーストリガーを押して切断ヘッドを解除します(図19)。
- ハンドルを下げたて材料を切断します。
- ノコ刃の速度に合わせて作業をします。ハンドルに圧力をかける必要はありません。
- 切断が完了したらOFFボタン(赤色(O)ボタン)を押します。
- ノコ刃が完全に止まるまで待ちます。
- 切断ヘッドを上部位置に戻し、下部保護カバーが完全にノコ刃の歯を覆い、切断ヘッドが上部位置で固定されてから、ハンドルを離します。

マイターチョップ切断

注記: 本機の回転テーブルは、通常の横切り(0度)位置から左右に45度回転させることができます。左右両側5度間隔の角度で積極的な停止が設定されています。

- ・ 反時計回りにまわして、マイターアングル止めネジを緩めます。
- ・ 求める角度に回転テーブルをまわします。設定し易いようにマイターアングルのプロテクタースケールが本機のベースに組み込まれています。
- ・ 角度が確定したらマイターアングル止めネジを締めます。(図20)

注記: 回転テーブルは、常にマイターアングル止めネジで固定した状態にしてください。

上述の通常のチョップ切断の手順に従って縦切りができます。

通常の傾斜切断

切断ヘッドの傾動

注記: 通常の傾斜切断は、回転テーブルのマイターアングルを0度に設定して行います。

切断ヘッドは、垂線から左側のみ通常の0度(垂線位置)から、最大角度45度の傾斜まで行うことができます。

切断ヘッドの左への傾動:

- ・ 傾斜止めノブを反時計回りにまわして緩めます。(図21)
- ・ 切断ヘッドを必要な方向へ傾けます。設定し易いようスケールが付いています。(図22)
- ・ 角度を決めて、傾斜止めノブを締めます。

注記: フェンスの左側には、調整可能な上部フェンスがあります。傾斜切断の際には、ノコ刃に接触しないように調整してください。



図20



図21



図22



図23

スライド式上部フェンスの調整:

- ・ 蝶ネジを緩めます。(図23)
- ・ フェンスの上部セクションを求める位置まで左方向にスライドさせて、蝶ネジを締めます。
- ・ 電源を切った状態で「予行演習」をして、切断ヘッドが下がる時に接触しないことを確認してください (特にノコ刃の下降と本機のフェンス)。

複合切断(図24)

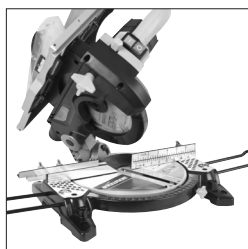


図24

注記: 複合切断とは、マイター切断と傾斜切断を合わせた切断方法です。

- ・ 前述のとおり、好みの傾斜およびマイターアングルを選択します。
- ・ 電源を切った状態で「予行演習」をして、切断ヘッドが下がる時に接触しないことを確認してください(特にノコ刃の下降と本機のフェンス)。

必要に応じて、フェンス上部左側セクションを調整してください。

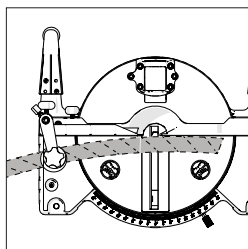


図25

湾曲した材料の切断(図25)

材料を切断する前に、湾曲していないか点検してください。湾曲している場合には、必ず材料を再配置して図に従って切断してください。

材料を間違った配置に置いたり、フェンスを使わずに切断したりしないでください。

障害物の排除

- ・ 本機をOFF(赤色(O)ボタン)にして、ノコ刃が完全に止まるまで待ちます。
- ・ 可能であれば、切断ヘッドを上部に上げます。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 慎重に詰まったものをすべて本機から取り除きます。
- ・ 本機の安全点検を行ってください。

保守・調整

警告: 保守・調整作業を行う際は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから外してください。

清掃

ご使用後は毎回、清掃してください。本機についた切粉など吸引掃除機を使ってすべて取り除いてください。吸引掃除機を本体背面の粉塵排出口に接続することもできます。これで、本機内部の切粉を取り除くことができます。プラスチック部分を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください（本体を傷めます）。水で浸した柔らかい布でふき取ってください。

割刃（ライビングナイフ）

割刃は重要な部品です。工場出荷時に適正に調整されています。割刃は、切断中に加工材がノコ刃に挟み込まれるのを防止します。割刃を定期的に点検してください。磨耗している場合は修理に出してください。

注記: 割刃は本機の専用部品であるため、交換の際には当社の純正品エボリューションのライビングナイフのみをご使用になるようお勧めします。純正品以外をお使いになると危険です。

ライビングナイフの端とノコ刃の歯との隙間が約3～5mmになるように、ライビングナイフを調整する必要があります。(図26)

ライビングナイフの調整:

- ・ 適合する六角棒スパナを上部保護カバーの差込口に差し込んで、2個のライビングナイフの固定ネジを若干緩めます。(図27)
- ・ ライビングナイフを動かして位置を調整した後、固定ネジを締めます。

ノコ刃の取り付けと取り外し

警告: 本機エボリューションパワーツールの純正品または当社が推奨するノコ刃のみをご使用ください。ノコ刃の最高速度が本機の仕様に合わせていることをご確認ください。

注記: ノコ刃の取付けや交換などノコ刃を取扱う作業を行う際には、保護手袋を着用することを推奨します。

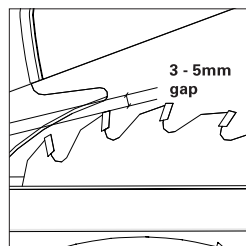


図26



図27



図28

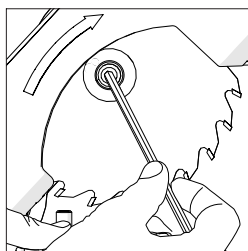


図29

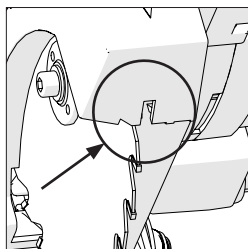


図30

注記: 本機Fury 6では、ノコ刃は非常に精密な適合になっていますので、ノコ刃を取り付ける際はゆっくりと順序立てて行なってください。

- ・ 本機が切断ヘッドが上部に位置する卓上マルノコのモードになっていることを確認します。
- ・ 格納式下部保護カバーを外し(図28)、ピボットネジを外し、なくさぬよう安全に保管して下さい。
- ・ 付属の「C」ピンスパナを使ってノコ刃の外フランジを押さえ、回転しないようにします。また本機の回転も防ぎます。
- ・ 付属の六角棒スパナを使ってフランジ用ネジを外します(図29)。

注記: フランジ用ネジは左ネジになっています。時計回りにまわして緩め、反時計回りにまわして締めます。

- ・ フランジ用ネジ、フランジ用ネジのワッシャー、およびノコ刃の外フランジを外して、再度取り付けるためのために安全に保管します。
- ・ 格納式下部保護カバーを手動で操作し、カバーの2つのパーツを本体に完全に回転します。
- ・ 本体のフランジ端から外に向けて引き出した後、下方から前に向けて本体から離すようにノコ刃を取り外します。

注記: 切断ヘッド(図30) 前下側にある5mmのノコ刃スロットは、ノコ刃を本体に取り付けたり外したりする作業をする際に、スペースが空くように設計されています。

- ・ ノコ刃の内フランジを点検して、汚れや粉塵が付着している場合は清掃してください。

注記: 清掃の際には、通常、ノコ刃の内フランジはそのままの位置に置きますが、清掃のために本体から外した場合には、取り外す前と同一の位置・方向に戻してください。

ノコ刃の再設置

- ・ ノコ刃が本機の仕様に適合していることをご確認ください。
- ・ ノコ刃に印刷されている回転方向の矢印が、本機の上部保護カバーに表示された回転方向の矢印に一致していることを確認してください。

注記: ノコ刃の前方では、ノコ刃の歯が常に下方向になっていることを確認してください。

- ・ 慎重かつ丁寧にノコ刃を上向きに動かして本体に近づけ、ノコ刃を内フランジに入れます。
- ・ ノコ刃の外フランジ、ワッシャー、フランジ用ネジを戻して取り付けます。
- ・ 全体を手動で固定します。
- ・ 本体のフランジが回転しないようノコ刃の外フランジを「C」ピンスパナで固定します。
- ・ フランジ用ネジを付属の六角棒スパナでしっかりと締めます。
- ・ ノコ刃が問題なく回転するか手で動かして点検します。
- ・ ノコ刃の歯が完全に覆われるように格納式保護カバーをノコ刃にかぶせます。
- ・ 格納式保護カバーの操作レバーを戻して、ピボットネジで取り付けます。
- ・ 安全カバーの操作など、設置を点検します。

高精度角度の点検と調整

警告: 以下の作業は、電気工具をコンセントに接続していない状態で行ってください。

注記: すべての角度設定は工場出荷設定になっていますが、通常の操作による損耗の結果、点検と調整が必要になる場合があります。

注記: 傾斜角度の設定を点検・調整するときには、本機を卓上マルノコ設定の状態にする必要があります。

0度の傾斜角度

0度の傾斜角度では、ノコ刃は本機の回転テーブルに対して垂直に90度ですが、0度の傾斜角度を測定するためには、精密な直角尺(非付属品)が必要になります。

点検方法:

- ・ 切断ヘッドがストップに対して垂直の位置にあり、傾斜ポインターが0度の傾斜角度をプロテクタースケールで示していることを確認します(図22参照)。
- ・ 傾斜ロックハンドルを締めます。
- ・ 切断ヘッドを一番下の位置まで下ろします。格納式下部保護カバーが自動的に回転して本体上方向に動きます。
- ・ 直角尺を使ってノコ刃と回転テーブルの角度を点検してください。

注記: 直角尺がタングステンカーバイドのノコ刃に接触しないよう注意してください。測定に誤りが生じることがあります。



図31a



図31b



図32a



図32b

調整が必要な場合:

注記: 0度傾斜ストップの調整ネジを操作するためには、切断ヘッドを傾ける必要があります。

- ・ 0度傾斜ストップの調整ネジのロックナットを緩めます (図31a)。
- ・ 傾斜ストップのネジ (図31b) を必要に応じて時計回りまたは反時計回りに六角棒スパナを使用してまわします。
- ・ ストップに対してノコ刃が切断ヘッドと揃っているか、直角尺を使って頻繁に点検してください(傾斜ストップネジを4分の1間隔の回転で点検することを推奨します)。
- ・ ノコ刃と回転テーブルが正確に揃っていることを確認してから、ロックナットを締めます。

45度の傾斜角度

45度の傾斜角度の点検と調整は、0度の傾斜角度の場合とほぼ同様に行います。精密な45度角尺(非付属品)が必要になります。

点検方法:

- ・ 切断ヘッドがストップに対して垂直の位置にあり、傾斜ポインターが45度の傾斜角度をプロテクタースケールで示していることを確認します。
- ・ 傾斜ロックハンドルを締めます。
- ・ 切断ヘッドを一番下の位置まで下ろします。格納式下部保護カバーが自動的に回転して本体上方向に動きます。
- ・ 45度角尺を使ってノコ刃と回転テーブルの角度を点検してください。

注記: 45度角尺がタングステンカーバイドのノコ刃に接触しないよう注意してください。測定に誤りが生じることがあります。

調整が必要な場合:

注記: 45度傾斜ストップの調整ネジを操作するためには、切断ヘッドを傾ける必要があります。

- ・ 45度傾斜ストップの調整ネジのロックナットを緩めます (図32a)。
- ・ 傾斜ストップのネジ(図32b) を必要に応じて時計回りまたは反時計回りに六角棒スパナを使用してまわします。

- ・ ストップに対してノコ刃が切断ヘッドと揃っているか、45度角尺を使って頻繁に点検してください(傾斜ストップネジを4分の1間隔の回転で点検することを推奨します)。
- ・ ノコ刃と回転テーブルが正確に揃っていることを確認してから、ロックナットを締めます。

フェンスの調整

フェンスは、本体ベースに片側1個ずつの計2個のソケットヘッド小ネジで留められています。

この小ネジは、フェンス型の細長い穴に沿って埋め込まれています。この細長い穴は、必要に応じてフェンスの位置が変えられるようにするものです。

注記: フェンスは、正しく取り付けられたノコ刃に対して正確に90度になるよう設定してください。

フェンスを正しく設置するには、正確な直角尺(非付属品)が必要です。

フェンスの再配置:

- ・ 回転テーブルのマイターアングルが0度になっていることを確認します。
- ・ 切断ヘッドの傾斜角度が0度になっていることを確認します。
- ・ 切断ヘッドを一番下げた状態にします。
- ・ フェンスがノコ刃と平行になるよう直角尺を使って確認します。
- ・ 再設置が必要な場合は、2個のフェンスソケットヘッド小ネジ(図33aおよび図33b)を六角棒スパナで若干緩めてください。

注記: 左側的小ネジに届かない場合は、スライド式上部フェンスをフェンス型本体から外す必要があります。

スライド式上部フェンスの取り外し:

- ・ スライド式上部フェンスをフェンス型本体に留めているグラブネジを外します(図34)。
- ・ スライド式上部フェンスをフェンス型本体からスライドさせます。



図33a



図33b



図34

これでソケットヘッド小ネジに届きます。

- ・正しい角度になるようにフェンスを再配置してから、ソケットヘッド小ネジを締めます。
- ・調節を点検します。
- ・スライド式上部フェンスを再配置します。

注記: 再設置は取り外し作業の反対になります。

メンテナンス

(6.1) 警告: 保守作業を行う際は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全機能および保護カバーが正常に作動していることを定期的に点検してください。本機は、安全機能および保護カバーが正常に作動している場合のみ使用してください。

本機のモーターベアリングはすべて、製品寿命全期間にわたって潤滑油処理が施されているため、注油をする必要はありません。

プラスチック部分を清掃する際には、水で少し湿らせた柔らかい布でふき取ってください。シンナーなど有機溶剤の使用はプラスチック部分を傷めます。

警告: 本機ケーシングなどの開口部に先が尖ったものを差し込んで清掃しないでください。

過剰な火花発生は、モーターの異常またはカーボンブラシの磨耗が疑われます。

(6.2) この可能性がある場合には、点検・カーボンブラシの交換を依頼してください。

(6.4) 環境保護

電気機器製品を廃棄する際は、家庭ごみとして捨てないで、リサイクル処理施設でリサイクルしてください。リサイクルについては、各自治体または販売店にお問い合わせください。

evOLUTION®

www.evolutionpowertools.com

JP

輸入・販売元

大同通商株式会社

東京都千代田区岩本町

2-11-9

イトーピア橋本ビル3F

0120-051-415

Discover Evolution Power Tools

Visit: www.evolutionpowertools.com or download
the QR Reader App on your smart phone and scan
the QR code (Right).

